寄り道して見つける千葉の魅力

道で発見！ちば

千葉県PRマスコット
キャラクター　チーバくん
千葉県許諾 第A3-9号

今回の道

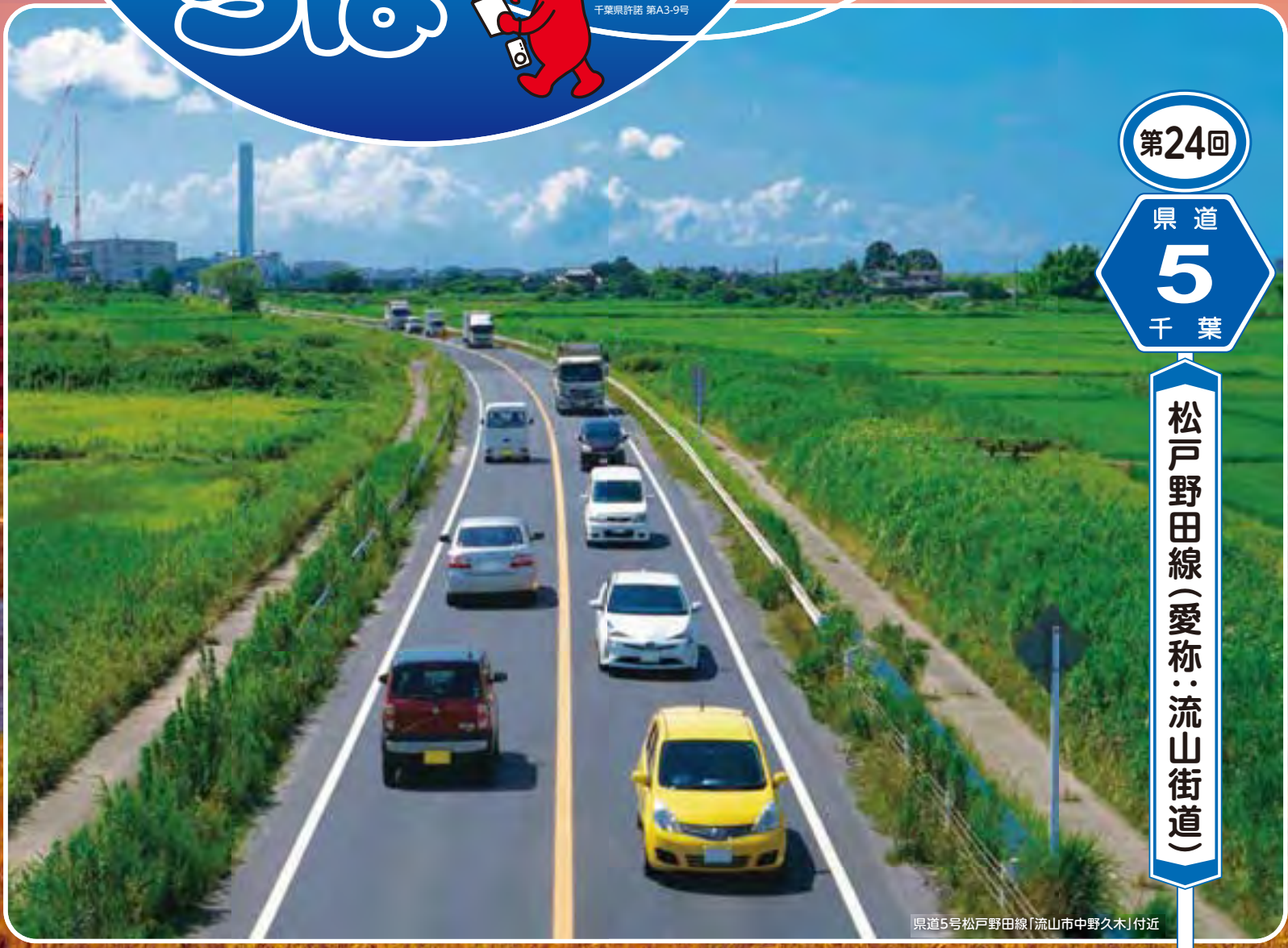
県道5号松戸野田線

松戸市から野田市までの
約24kmを紹介！

第24回

県道 5 千葉

松戸野田線（愛称：流山街道）



県道5号松戸野田線「流山市中野久木」付近

《背景》県道5号松戸野田線「松戸市主水新田」付近、江戸川左岸自転車道から都心方面を望む。

▲長い直線道路が続く「県道5号松戸野田線」松戸市街地。

野田市中野台まで約24km、県道5号松戸野田線（流山街道）を行く！

県道5号松戸野田線は、松戸市小山の国道6号と交差する「松戸二中前交差点」を起点に、流山市を経て野田市の「野田市中野台交差点」を終点とする延長約24kmの主要地方道。1988年（昭和63年）の「千葉県道路愛称制定委員会」により「流山街道」の愛称が付けられました。また、起点が「松戸市小山」、終点を「野田市関宿三軒家」とする江戸川沿いを走る「千葉県道401号松戸野田関宿自転車道線」と野田市中野台付近まで並走しています。

スタートして間もなく、江戸川沿いの松戸市街地に向かう交差点を右折し、松戸市街地を進み、人通りの多い「根本交差点」を左折すると、比較的長い直線道路が続きます。やがて家並みがまばらになり、進行方向左側にサイクリングロードがある江戸川の土手が見え隠れします。路線は、JR武蔵野線のガードをくぐり、流山市の市街地を抜け、常磐自動車道を横切ります。流山市南にあるT字路を左折すると、常磐自動車道流山ICへ向かう道と分岐し、車は今まで走ってきた市街地とは景色が異なり左右に開けた田園地帯を走ります。「利根運河」に架かる橋を渡るとすぐ野田市に入りますが、広大な田園地帯はしばらく続きます。田園地帯を過ぎ、緑に囲まれた住宅地の中を野田市街地へ向い、右側にキッコーマン野田工場の一部が視界に入ると、すぐその先がゴールの「野田市中野台交差点」です。

▲「利根運河」を渡る県道5号松戸野田線。

江戸川沿いの土手に設けられた「県道401号松戸野田関宿自転車道線」。（松戸市主水新田付近）

▲ゴール地点の「野田市中野台交差点」付近

現在は、松戸野田線として無料開放されていますが、かつては2つの有料道路があった路線！

「松戸野田有料道路」と「流山有料道路」

▲現在は常磐自動車道「流山IC」への分岐点ですが、かつては直進が「松戸野田有料道路」で、左が「流山有料道路」でした。

県道5号松戸野田線の流山市南から野田市上花輪までの、延長約7.1kmは「松戸野田有料道路」でした。1977年（昭和52年）10月に開通し、2007年（平成19年）10月1日で30年が経過したため料金徴収期間満了に伴い、無料開放されました。無料化直前の通行料金は、軽自動車が100円、普通車は200円でした。

また、県道5号松戸野田線につながる「流山有料道路」は、1992年（平成4年）3月に開通した常磐自動車道「流山IC」から、流山市南に至るまでの延長0.5kmの有料道路で、2015年(平成27年)4月14日に無料開放されました。無料化直前には「日本一短い有料道路」として知られ、普通車の通行料金は、100円でした。

▲スタート地点の「松戸二中前交差点」付近

Special Spot 発見!

県道5号松戸野田線の今回のゴールである「野田市中野台交差点」の手前約350m付近に差し掛かると、ほのかな醤油の香りとともに、道路の右側に上部が円錐形で筒状の銀色に輝くタンクがいくつも並ぶ、キッコーマン野田工場の一部が見えます。しょうゆの町、野田市ならではの風景です。

●キッコーマンもの知りしょうゆ館（野田工場）

▲見学コース（もろみの香りの違いを比較する）

▲まめカフェ（しょうゆソフトクリーム）

▲まめカフェ（せんべい焼き体験）

キッコーマンのしょうゆ工場の中には、日本を代表する調味料である”しょうゆ”のことがよくわかるミュージアム「キッコーマンもの知りしょうゆ館」があります。映像を見ながらしょうゆの製造工程やしょうゆの秘密について学んだ後は、いよいよ製造工程の見学へ。もろみ熟成の様子やしょうゆの色・味・香りの体験、「しょうゆの歴史」や「しょうゆの知識」が楽しく学べます。見学後には、来館記念のプレゼントがもらえます。（案内付きの見学は要予約）

▲見学コース（もろみの色の違いを見る）

●開館時間／9:00～16:00
●休館日／毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日)、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始
●見学案内／開始時間 9:00、10:00、11:00、13:00、14:00、15:00
●見学所要時間／約60分　●料金／無料

※その他、くわしくはWEBサイトをご覧ください。
https://www.kikkoman.co.jp/enjoys/factory/noda/

●所在地／**キッコーマンもの知りしょうゆ館（野田工場）**
野田市野田110　TEL.04-7123-5136（予約）

●清水公園

▲平成28年3月リフレッシュ・オープンした「フィールドアスレチック」

清水公園は、日本さくら名所100選に選ばれた全国有数の桜の名所であり、ツツジや梅、牡丹や藤など四季折々に約500種の花で彩られ、秋には紅葉の美しさも堪能できる年間を通じて自然と触れ合うことができる公園です。園内には、スリルと冒険が楽しめるフィールドアスレチック、BBQもできるキャンプ場、ヤギやモルモットとも触れ合えるポニー牧場、噴水が行く手をはばむ巨大迷路のアクアベンチャー、バラ・ボタン・シャクヤクなどの花が咲く敷地7万㎡の花園「花ファンタジア」など多彩なレジャー施設が揃っています。

▲全て屋根付なので、雨天でも安心してBBQができます。

▲花ファンタジアでは真っ赤に染まったコキアが楽しめます（秋季）

●営業日／常時開放。
ただし各施設は入場時間の制限があります。
●入園料／無料（各施設は有料）

※その他、くわしくはWEBサイトをご覧ください。
http://www.shimizu-kouen.com

●所在地／**清水公園**　野田市清水906　TEL.04-7125-3030

●流山市立博物館

旧石器時代から現在までの流山の歴史や民俗を13のコーナーに分けて紹介している常設展では、江戸時代に白みりん発祥の地として「流山の白みりん」の名が広まったことや千葉県指定有形民俗文化財の「流山のみりん醸造用具」の展示、動乱の幕末時代を駆け抜けた新選組局長・近藤勇が兵を率いて流山に入った当時の記録資料などが展示されています。

▲千葉県指定有形民俗文化財「流山のみりん醸造用具」

▲エントランス付近

▲日本各地のみりん

●開館時間／9:30～17:00
●休館日／月曜日・祝日の場合開館し、その翌平日。
館内整理日（土曜日・日曜日を除く月の末日）
年末・年始（12月29日から1月4日）
●観覧料／無料
●所在地／**流山市立博物館**
流山市加一丁目1225-6
TEL.04-7159-3434

※くわしくはWebサイトをご覧ください。
http://www.city.nagareyama.chiba.jp/life/22/184/index.html

●戸定（とじょう）が丘歴史公園

▲国指定重要文化財の戸定邸と国指定名勝でもある美しい庭園。

▲歴史館展示室内

▲当時のスイス全権公使アンベールから徳川昭武に贈られた懐中時計

西側に江戸川や富士山が眺められる標高約25mの高台にあるのは、徳川慶喜の弟・水戸藩最後の藩主、昭武が建てた旧大名家の邸宅「戸定邸」。かつては7万㎡を超えていた敷地の約3分の1が「戸定が丘歴史公園」として整備公開されています。公園内には戸定邸のほか、徳川昭武と兄・徳川慶喜の資料を展示する「戸定歴史館」があります。

《戸定歴史館 + 戸定邸》
●開館時間／9:30～17:00（入館は、16:30まで）
※戸定が丘歴史公園は、9:00～
●休館日／月曜日（祝日の場合その翌日）
年末年始（12月28日から1月4日まで）、
歴史館のみ展示替え期間
●共通入館料／一般240円、高校生・大学生160円
※個別に入館することもできます。中学生以下無料
●所在地／**戸定が丘歴史公園**
松戸市松戸714-1　TEL.047-362-2050
（戸定歴史館）

※くわしくはWebサイトをご覧ください。
http://www.city.matsudo.chiba.jp/tojo/

自転車で行こう！

千葉県道401号松戸野田関宿自転車道線

通称：江戸川左岸自転車道 延長41km

県道401号松戸野田関宿自転車道線は、松戸市から野田市に至る一般県道として認定された自転車道路で、大規模自転車道の一路線です。江戸川の河川敷に整備されたサイクリングロードなので、一段高い土手の上から見晴らしのいい走りを楽しむことができます。起点からしばらく続く道は、松戸市が推進する「水辺の健康エコロード」の一部にもなっているので、休憩所やトイレなども整っています。休日ともなれば、サイクリングやウォーキングを楽しむ人々で賑わいます。また、江戸川の河川敷は広く、サッカー場や野球場などがあり、アウトドアスポーツの場にもなっています。野田市平井にある「関宿滑空場」は、日本最大の規模をもつ公共用滑空場で、都心から最も近いフィールドとしてグライダー愛好者が集うスポットです。サイクリングロードの終点は野田市関宿三軒家で、目の前には「千葉県立関宿城博物館」があり、「河川とそれにかかわる産業」をテーマに、川の歴史・民俗を紹介する展示を見ることができます。また、博物館近くには、終戦時の内閣総理大臣として活躍した鈴木貫太郎に関する資料が展示された「鈴木貫太郎記念館」もあります。

延長約41km
- ●起点／松戸市小山
- ●終点／野田市関宿三軒家

▲終点付近にある海からの距離標

▲関宿滑空場

松戸市▶「水辺の健康エコロード」の案内標識

▲道路幅も広くきれいに整備されているサイクリングロード

▲県立関宿城博物館

▲鈴木貫太郎記念館

▲起点付近から見える対岸

▲起点付近にある海からの距離標

▲起点付近

●問い合わせ／県土整備部道路環境課
TEL.043-223-3142

安全走行！サイクリングのマナー

川沿いに整備されたサイクリングロードは、サイクリングを楽しむには絶好の道。でも、日本のサイクリングロードのほとんどは、自転車と歩行者専用の「自転車歩行者道」です。散歩やジョギングする人もいるので、あくまでも「歩行者優先」を心がけましょう。

《道で発見！ちば》今月の誌上クイズ！

今回取り上げた県道5号松戸野田線の起点は、松戸市小山の松戸二中前交差点です。この交差点は、国道6号と、もう1本道路が交差していますがその路線名は何でしょうか。

以下の3つの中から正解を1つ選んでください。

① 県道54号松戸草加線
② 県道1号市川松戸線
③ 県道261号松戸柏線

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「道で発見！ちば」の第24回をご覧ください。

正解は→② 県道1号市川松戸線

取材協力・写真提供・撮影協力／ 千葉県 県土整備部道路環境課　キッコーマン株式会社
株式会社千秋社 清水公園　流山市立博物館
戸定が丘歴史公園

2017.9（次回発行／ 2017年10月20日）

京葉銀行 BANK
ホームページでもご覧いただけます。
京葉銀行　情報誌　検索

LINEからも「道で発見！ちば」を配信しています。
LINE@ 京葉銀行 公式アカウント